

八幡駅バリアフリー化及び耐震化事業の詳細設計に係る予算流用について

1 趣旨

遠州鉄道株式会社が実施する遠州鉄道鉄道線の八幡駅のバリアフリー化及び耐震化事業の詳細設計に対し、現計予算における鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業内の組替えにより市単独で助成することで事業の進捗を図る。

2 背景

- ・八幡駅は、高架駅であり、バリアフリー化未整備駅のため、駅利用には階段による利用を強いられ、特に高齢者や障がい者等には不便な状況である。
- ・八幡駅は、耐震性能が不足しており、南海トラフ巨大地震による甚大な被害とともに都市機能がマヒすることを回避するため、駅舎や橋脚の早期の耐震化が必要である。
- ・当初予算において、国との協調補助費として八幡駅バリアフリー化詳細設計費（補助率 1/3 予算額 13,333 千円）及び美蘭中央公園駅、岩水寺駅の転落防止柵設置工事費（補助率 1/3 予算額 21,873 千円）を計上したが、現時点では、国庫補助採択は見送られている。
- ・八幡駅のバリアフリー化及び耐震化は、構造上同時施工が必須であり、令和3,4年度の工事実施に向けて、国への要望活動を行っている。また、詳細設計には6ヶ月程度要するため、来年度の工事に対する国庫補助申請に間に合わせるためには、早期の実施が必要である。

3 対応

(1) 方針

- ・八幡駅のバリアフリー化及び耐震化の詳細設計に対し、鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業内の予算の組み替えを行い、市単独で助成する。
※現在、バリアフリー化については国補助について調整中

(2) 事業費 補助金 23,333 千円（鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業）

- ・バリアフリー化詳細設計に対する補助金 13,333 千円（事業費 40,000 千円の 1/3）
- ・耐震化詳細設計に対する補助金 10,000 千円（事業費 30,000 千円の 1/3）

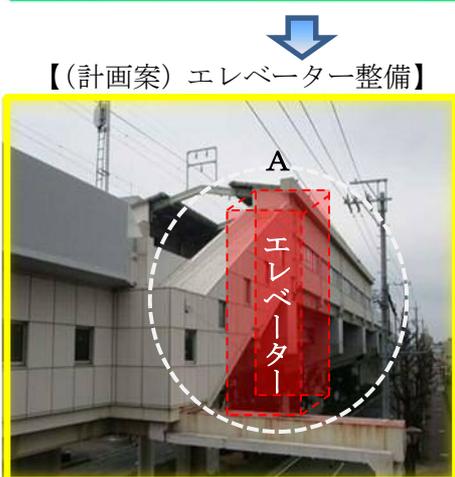
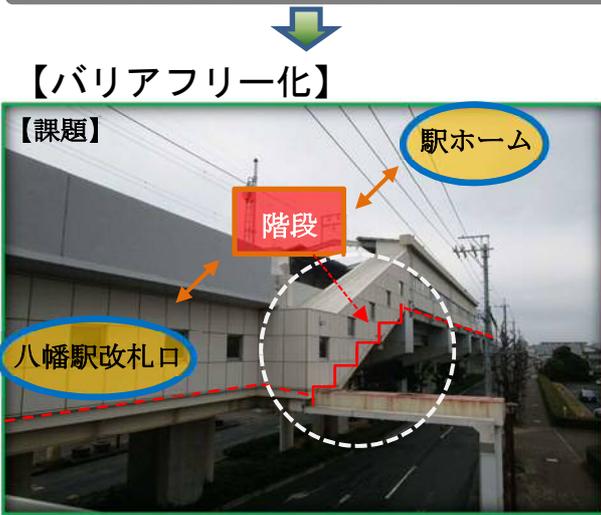
(単位:千円)

区分		当初予算	実施	調整・検討中
八幡駅	バリアフリー化（詳細設計）	13,333	13,333	0
	耐震化（詳細設計）	0	10,000	0
	計	13,333	23,333	0
美蘭中央公園・岩水寺駅	転落防止柵設置（工事）	21,873	0	11,873
合計		35,206	23,333	11,873

(3) スケジュール

- ・令和2年 7月以降 詳細設計（国補助調整の結果判明後、直ちに着手）
- ・令和3年 5月～ 工事

遠州鉄道鉄道線 八幡駅バリアフリー化・耐震化事業について



- A. 駅構内**
- ・ EV 2 基 (上り・下り) 改札⇔ホーム
 - ・ **詳細設計 (令和 2 年度)**
- 駅構外 (横断歩道橋)**
- ・ EV 2 基 道路⇔改札口

- 耐震補強**
- ・ T型橋脚補強他 (9本)
 - ・ **詳細設計 (令和 2 年度)**

(参考)

遠州鉄道鉄道線連続立体交差事業 (第1期高架事業)

- ・ 事業年度…昭和 55 年～昭和 61 年
- ・ 区間…新浜松駅～助信駅 (2.64 km)
- ・ 橋脚…96 本